

サービスホールからのお知らせ

◆福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、柏崎刈羽原子力発電所の安全対策の実施状況に関する説明会を開催しています。参加をご希望の方は、ぜひご来館ください。
 なお、これまでの説明会の実施結果は、発電所ホームページで紹介しています。

【説明会開催概要】※事前予約は不要です。

開催日	開催時間	発電所構内のご案内バス 運行時間
平成24年12月16日(日)	13:00~14:00	1日2便 〔1便12:00~ 2便15:00~〕
平成25年1月27日(日)	14:00~15:00	1日2便 〔1便11:00~ 2便15:00~〕



11月の説明会の様子

※1月27日(日)は開催時間が変更となりましたので、ご注意ください。

〈説明会〉※事前予約は不要です。

【開催場所】サービスホール受付前ロビー

【所要時間】約60分

【説明内容】福島第一原子力発電所の事故を踏まえた柏崎刈羽原子力発電所の安全対策の実施状況

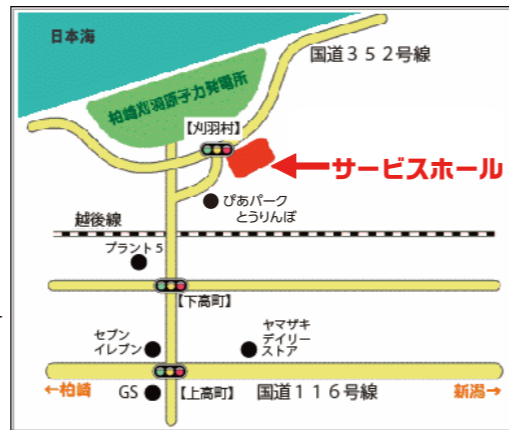
〈発電所構内のご案内バス〉※事前予約が必要です。

【所要時間】約40分

【ご案内内容】

防潮堤・電源確保等の安全対策工事の実施状況を発電所構内にてご案内します。

※参加をご希望の方は、運転免許証または住民基本台帳カード(顔写真付)をお持ちください。



◆年末年始は12月29日~1月3日まで休館いたします。

また、毎月第1水曜日(祝日の場合は第2水曜日)以外は、毎日開館(9:00~16:30)しておりますので、展示館や発電所構内のご案内をご希望の方は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

【お問い合わせ】サービスホール ☎0120-34-4053 (9:00~16:30)

(おひらき)

みなさまの声を聞かせください
 1. 「放射線」について、ご質問がございましたら、お聞かせください。

2. 発電所に対して、その他ご意見・ご質問がございましたら、お聞かせください。

ご協力ありがとうございました

みなさまからの
 様々なご疑問に
 本紙でお答えさ
 せていただきます。
 ぜひとも、日頃か
 ら疑問に思っ
 ていらっしやるこ
 とやご意見を多数
 お寄せください。

2012年12月16日発行 (H24-R-9)
 編集発行責任者
 柏崎刈羽原子力発電所広報部
 企画広報グループマネージャー
 〒945-8601 柏崎市青山町16番地46
 ☎0120-120-448 (平日9~17時)

発電所ニュース

貯水池への水張りを行っています

◆原子炉や使用済燃料プールを冷却するための水源を多様化するために、貯水池を設置します。10月31日から水張りを行っており、12月下旬に満水になる予定です。



撮影日：12月3日

▲発電所内の井戸から淡水を供給。約2万トンの水を蓄えます。



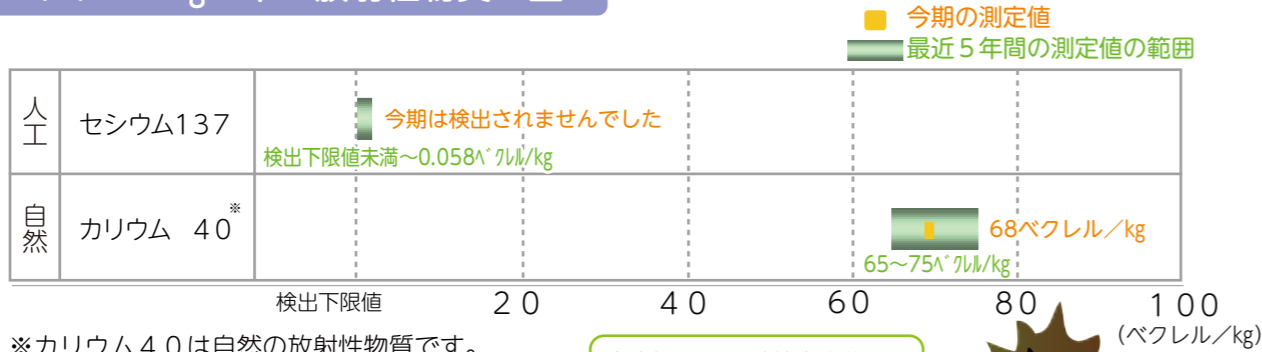
発電所ホームページ掲載の動画を更新しました。
 中越沖地震の後の地震対策をはじめ、現在取り組んでいる津波対策など、発電所の安全対策の様子を映像でご紹介しています。
 ぜひご覧ください。

<発電所ホームページ>
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

発電所周辺の環境放射線監視調査結果をお知らせします (平成24年度第2四半期)

- ◆平成24年度第2四半期の監視調査結果がまとまりました。
- ◆一例として、サザエの測定結果をご紹介します。サザエからは、放射性セシウムなどの人工の放射性物質は検出されませんでした。

サザエ 1 kg 中の放射性物質の量



※カリウム40は自然の放射性物質です。太古から自然界に存在します。他にも自然の放射性物質が検出されていますが、代表としてカリウム40を掲載しています。

◆採取場所：柏崎市椎谷岬
◆採取年月：平成24年8月

(注)放射性物質の種類ごとに出てくる放射線の数や強さが違うことなどから、同じ1ベクレルでも、カリウム40よりセシウム137の方が約2倍人体に影響があると言われています。

- ◆モニタリングポストの測定結果なども含めた詳細なデータは、発電所ホームページでご覧いただけます。
- ◆発電所では、今後も環境放射線の監視調査を継続して実施してまいります。また結果については、毎年開催される「新潟県原子力発電所周辺環境監視評価会議」で評価していただきます。

はがきでお寄せいただいた「声」にお答えします

Q. 自治体が行っている下水道汚泥中の放射性物質の調査結果を見ると、半減期が短い「放射性ヨウ素」(半減期約8日)が今でも検出されています。福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出が続いているのですか？

A. 福島第一原子力発電所からの放射性ヨウ素の放出は、現在では確認されていません。福島第一原子力発電所の事故により、今なお、地域の皆さまに大変なご心配をおかけしておりますことを、改めて心よりお詫び申し上げます。

福島第一原子力発電所からは、事故当初、放射性ヨウ素が放出されていましたが、半減期が約8日と短く、現在では発電所からの放出は確認されていません。検出できる下限値以下にまで減衰しています。

また、当社が行っている柏崎刈羽原子力発電所周辺の環境放射線監視調査においても、事故直後は放射性ヨウ素を確認しましたが、現在では確認されていません。

下水道汚泥から検出される放射性ヨウ素については、医療目的等で使用されたものではないかと考えられます。



福島第一原子力発電所
1号機 原子炉建屋カバ（放射性物質の放出を抑制するために設置）

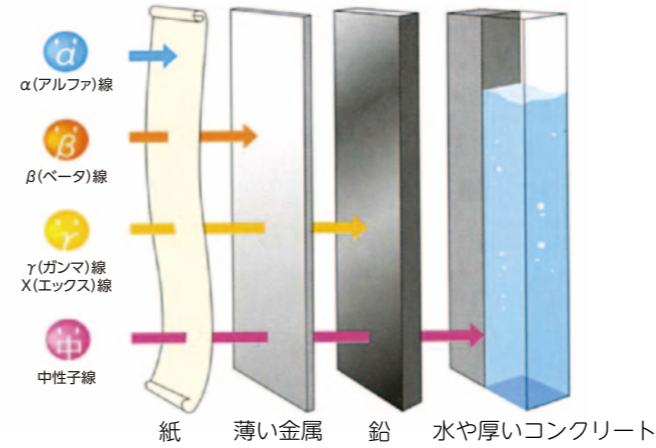
今後もみなさまの声にお答えしてまいります

【シリーズ】放射線のはなし⑪

～放射線の種類と透過力～

- ◆すべての物質は「原子」から出来ており、原子は原子核や電子から構成されています。原子から飛び出してくる粒子や電磁波のことを「放射線」といいます。
- ◆放射線にはいろいろな種類があります。種類によって物質を通り抜ける力（透過力）が違います。

代表的な放射線と透過力



※ この他にも、陽子線や重粒子線など特殊な放射線もあります

それぞれの放射線を出す主な放射性物質

- α(アルファ)線 プルトニウム(人工)やラドン(自然)などから出てきます
- β(ベータ)線 セシウム(人工)やカリウム(自然)などから出てきます
- γ(ガンマ)線 X(エックス)線 セシウム(人工)やカリウム(自然)などから出てきます
- 中性子線 主に、原子炉内でのウランやプルトニウムの核分裂により出てきます

- ◆放射線を取り扱う作業などでは、適材適所の工夫がされています。たとえば、歯のレントゲンを撮る時に鉛入りのエプロンを着けます。これは、不要なところに放射線(エックス線)が当たらないようにするためです。
- ◆放射線が出ている場所から離れたり、適切な素材で放射線をさえぎることなどにより、放射線から身を守ることができます。

【発電所ミニデータ】

- 柏崎刈羽原子力発電所で現在働く人は5,247人です。(12/3現在)
- 内訳は以下のとおりです。

＜東京電力＞		(人)
柏崎市	889	
刈羽村	90	
その他	116	
県外	110	

＜協力企業＞		(人)
柏崎市	2,174	
刈羽村	199	
その他	998	
県外	671	

＜合計＞		5,247
※協力企業については登録人数を計上。		

お電話番号
ご記入いただきました個人情報については、質問などへの回答、紙面づくりの参考以外では使用いたしません。

(2012年12月号)

ご住所〒

お名前

年齢 歳 男・女

〒 差し支えなければご記入ください

柏崎支店 承認
15
差出有効期間
平成25年3月31日まで
(切手不要)

東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
広報部 行
(柏崎支店私書箱53号)

料金受取人私郵便

郵便はがき
945-8790